



国立大学法人  
**山梨大学大学院**  
教育学研究科 教育実践創成専攻  
(教職大学院)

教師力・授業力をひらき、倍加する  
新時代の**教職大学院**



UNIVERSITY  
OF  
YAMANASHI



# 教育の場で活きる**教職**大学院

山梨大学大学院 教育学研究科(教職大学院)教育実践創成専攻

定員：38名（現職教員：14名・一般：24名）

## ● 教育実践開発コース

地域や学校の教育課題に対応する力、学校改善をマネジメントする力などの総合的な実践力を有する教員を養成する。また、「発達障害児の心理」「インクルーシブ教育」「障害児の指導法」等の科目により、発達障害を抱えた子どもへの実践的指導力を有する教員を育成する。

### 学校マネジメント分野

学校経営、学校安全と危機管理、学校改善などに関する力を有し、学校づくりをリードできる教員を育成する。

### 教師力育成分野

学校が抱える様々な問題を解決する力を有し、カリキュラム開発、教育臨床、異校種間の連携、地域との連携を実践する力を有する教員を育成する。

## ● 教科領域実践開発コース

小学校、中・高等学校の各教科において、質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を養成する。さらに、教科横断・校種縦断に基づき、より高度な授業開発・実践・評価のできる教員を育成する。

### 初等教科教育分野

小学校の各教科において、質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を養成する。さらに、教科横断・校種縦断に基づき、より高度な授業開発・実践・評価のできる教員を育成する。

### 中等教科教育分野

中・高等学校の各教科において、質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を養成する。さらに、教科横断・校種縦断に基づき、より高度な授業開発・実践・評価のできる教員を育成する。

# 教育実践創成専攻 授業科目体系

## 教育実践開発コース

学校マネジメント分野

教師力育成分野

## 教科領域実践開発コース

初等教科教育分野

中等教科教育分野

教育課程の編成・実施に関する領域

『教育課程の内容と編成』

『初等教科横断型・総合型  
プロジェクト実践論』

『中等教科横断型・総合型  
プロジェクト実践論』

教科等の実践的な指導方法に関する領域

『道徳教育の理論と実践』

『授業研究マネジメント論』

『情報教育・ICT活用  
の理論と実践』

生徒指導・教育相談に関する領域

『発達障害児の心理』

『教育相談・生徒指導論』

学級・学校経営に関する領域

『学校・学級文化の創造と学級経営』

『学校安全と危機管理』

『学校組織経営論』

『教育法規とコンプライアンス』

『学校改善論』

学校教育と教員の在り方に関する領域

『現代学校・教師論』

教育実践研究に関する領域(独自領域)

『教育・地域課題挑戦プロジェクト実践論』

『教職実践高度化演習』

『山梨の学校改革』  
『教育政策の理論と実践』  
『特別の教育課程』  
『小学校における接続期カリキュラムの実践と課題』

『授業研究マネジメント論』  
『学校・学級文化の創造と  
学級経営』  
『エビデンスに基づく教育  
支援』  
『情報教育・ICT活用の理論  
と実践』

『学校安全と危機管理』  
『子どもエンパワーメント論』  
『インクルーシブ教育』  
『障害児の指導法』

『国語科の本質と目標・内容構成』 『英語科の本質と目標・内容構成』  
『社会科の本質と目標・内容構成』 『数学科の本質と目標・内容構成』  
『理科の本質と目標・内容構成』  
『家庭科の本質と目標・内容構成』 『音楽科の本質と目標・内容構成』  
『図画工作科・美術科の本質と目標・内容構成』  
『体育科・保健体育科の本質と目標・内容構成』

『初等国語科の教材研究と授業構想』  
『初等英語科の教材研究と授業構想』  
『初等社会科の教材研究と授業構想』  
『初等数学科の教材研究と授業構想』  
『初等理科の教材研究と授業構想』  
『初等家庭科の教材研究と授業構想』  
『初等音楽科の教材研究と授業構想』  
『初等図画工作科の教材研究と授業構想』  
『初等体育科の教材研究と授業構想』

『技術科の本質と目標・内容構成』  
『中等国語科の教材研究と授業構想』  
『中等英語科の教材研究と授業構想』  
『中等社会科の教材研究と授業構想』  
『中等数学科の教材研究と授業構想』  
『中等理科の教材研究と授業構想』  
『中等技術科の教材研究と授業構想』  
『中等家庭科の教材研究と授業構想』  
『中等音楽科の教材研究と授業構想』  
『中等美術科の教材研究と授業構想』  
『中等保健体育科の教材研究と授業構想』

『課題研究Ⅰ』  
『課題研究Ⅱ』  
『実習Ⅰ(学校マネジメン  
ト臨床実習)』  
『実習Ⅱ(学校・行政マネ  
ジメント実習)』

『課題研究Ⅰ』、『課題研究Ⅱ』、『課題研究Ⅲ』  
『小学校実習Ⅰ(課題発見実習)』又は  
『中・高等学校実習Ⅰ(課題発見実習)』  
『小学校実習Ⅱ(課題達成実習)』又は  
『中・高等学校実習Ⅱ(課題達成実習)』

【必要単位数】

課題研究(必修): 6単位  
(学校マネジメント分野は4単位)  
実習(必修): 10単位

共通科目【必要単位数: 18単位】

(学校マネジメント分野は20単位)

選択科目【必要単位数: 12単位】

課題研究  
・実習

## 教職大学院の1年間

### 学修環境の充実

教職大学院生のための院生研究室が整備されているほか、院生には一人一台パソコンが貸与されています。



ガイダンス

授業開始

実習開始  
(開始時期は一例です)

集中講義

4月

5月

6月

7月

8月

ホームカミングデイ

ホーム  
カミングデイ

9月

10月

教育実践フォーラム

11月

研究授業  
(時期は一例です)

12月

集中講義

1月

実習終了  
(終了時期は一例です)

2月

教育実践  
フォーラム  
(院生の研究成果発表)

3月

学位記授与式



## 私たちが教職大学院の魅力を紹介します



中央市立田富小学校  
教諭

太田 圭

### 理論と実践の往還

教職大学院の魅力を一言で述べるならば、「理論と実践の往還が目指されている」という

点にあると感じます。現職教員として10年間勤務してきた節目に、これまでの歩みを振り返り、確かな理論を学ぶことで教師として成長したいと考え、教職大学院に進学しました。実際に入学してみると、先生方の圧倒的な知識・理論を目の当たりにし、これまでの教師としての常識を覆される日々の連続でした。また、校種の異なる同期の仲間たちと共に学び合うことで視野を広げることができたと感じています。実習を通して理論を検証し、担当教官の先生から助言を頂きながら深めていく日々は、私にとって一生の財産となりました。

教職大学院を修了し、現在は6年生の担任として現場で勤務しています。子どもと共に学び続ける姿勢を忘れず、今後も邁進していきたいと思っています。



甲府市立国母小学校  
教諭

武居 拓己

### 2年間を振り返って

大学4年生で行った教育実習でこのまま教壇に立つことに不安を感じ教職大学院に進学

することを決意しました。教職大学院の2年間で得たものは多々ありますが、一番はたくさんの人との出会いです。自分と似た境遇のストレートマスターや教職人生の大先輩である現職院生の方々、大学院の教職員の方々に連携協力校の先生方、そしてたくさん子ども達。教職大学院での数えきれない出会いが、自分の引き出しや経験を増やしてくれました。周りの院生と支え合い、時に競い合いながら、「教育」や「学び」という、答えの無い問いに対する多面的・多角的な考えを知り、深めることができました。教壇に立つのが楽しみになった2年間でした。

# 教職大学院 Q&A

## Q1

### 教職大学院って、どんな人が学んでいるの？

ストレートマスターと現職教員の院生と一緒に学んでいます。  
学部を卒業して、そのまま教職大学院に進学した院生が「ストレートマスター」です。学校現場で実践経験を積んできた現職教員とストレートマスターが、机を並べて一緒に学んでいます。(教職大学院入学には、入学時点で教員免許状を持っていることが条件です)



## Q2

### 教職大学院って何年間？ どんなことをするの？

教職大学院に2年間在籍し、必要単位を修得することで、「教職修士(専門職)」の学位が取得できます。教職に就く前にきめ細かな指導の下に多くの実践経験を積み、修了時に即対応できる自信を身に付けることができます。教職大学院では、「講義(理論)」と「実習(実践)」のカリキュラムの下で、次のことを学ぶことができます。何と言っても最大の特徴は、「連携協力校」における実習です(1年間200時間)。実践力を向上させたい!と思う方は、教職大学院への進学をぜひ検討してみてください。

- ① 実習により教育現場の雰囲気を感じ、生徒指導・学級経営等のあり方等についても実践的に経験を積むことができます。
- ② 実習を通して大学院で学ぶ理論と現場における実践の往還ができます。
- ③ 毎回の実習の後、現職の先生や大学の先生との話し合いから、振り返りや今後に活かした検討ができます。
- ④ 授業は少人数での演習、基本的に研究者教員と実務家教員のチーム・ティーチングなので、学校の教育活動についての理論と実践の側面を同時に学ぶことができます。
- ⑤ 現職の先生とともに行動し、教員の仕事についてのノウハウを学び、教育現場の情報を得ることができます。
- ⑥ 校種縦断(小・中・高)、教科横断的な教育のあり方を学ぶことができます。

## Q3

### 教職大学院に行くとどんなメリットがあるの？ (ストレートマスター)

これまでご紹介したよさが教職大学院の魅力ですが、さらに次のようなメリットがあります。

- ① 修士の学位(教職修士(専門職))を取得できます。
- ② 専修免許状を取得できます。
- ③ 学部4年次、大学院1年次、大学院2年次と3回教員採用試験を受験することができます。しかも、山梨県などの一部の地域では学部4年次、大学院1年次に合格した場合、合格者として登録され大学院を修了するまで採用を猶予してもらえます。



- ④ 教育現場に出ると(本採用でも期間採用でも)、日々の仕事に追われてしまい、教育的な研究を行うことが難しいと言われます。教職大学院では学生らしい実践的な授業研究にチャレンジができます。
- ⑤ 期間採用で現場に出ると教員採用試験のための勉強をする時間を作るのが難しいのですが、教職大学院では試験への準備を十分に行うことができます。
- ⑥ 教員採用試験の対策について丁寧に指導してもらえます。
- ⑦ 学部卒院生に対して学術研究奨励金の修学支援制度があります。
- ⑧ 教職大学院の行事(県内外の先生方も参加)である「教育実践フォーラム」では、著名な教育研究者が講師として招かれ、教育の最先端の知見を得ることができるとともに、自分の実践研究を発表し、研究成果を世に問うことができます。
- ⑨ 修了後は規定により、俸給を含む処遇の面でしかるべき待遇を受けられます。
- ⑩ 長期履修制度があります。



## Q4

### 教職大学院に行くとどんなメリットがあるの？ (現職教員)

- ① 1年間現場(在籍校)を離れて研修することができます。
- ② 1年目の実習は、在籍校以外の連携協力校で行うため、教育現場を客観的に観察し、考えることができます。
- ③ 現場で感じている問題や課題について、大学教授等の専門的な指導を受けながら、実践的に追及することができます。
- ④ 今までの自分の実践をじっくり振り返り、新たな方向性を見つけることができます。
- ⑤ 大学での授業や実習、研究によって、新しい情報(今日的な課題など)を収集し、学校教育全体を俯瞰的にとらえることを通じて、新たな視点が生まれます。
- ⑥ 学部卒院生(ストレートマスター)や大学教員、異校種の現職教員、連携協力校の教員などとの協働的な研究活動により、幅広く密度の濃い人間関係が構築され教員としてのネットワークが広がります。
- ⑦ 修士の学位(教職修士(専門職))を取得できます。
- ⑧ 専修免許状を取得できます。
- ⑨ 修了後は規定により、俸給を含む処遇の面でしかるべき待遇を受けられます。
- ⑩ 教員免許状の更新期間が新たに変わります(さらに10年)。
- ⑪ 学術研究奨励金制度(現職教員学生のみ)を活用すると、2年間で入学金に相当する負担を軽減することができます。さらに、2年目の後期の授業料も免除されます。
- ⑫ 修了後も継続的に相談・指導を受けることができたり、大学教員と共同研究することが可能です。



# 入学試験について

## 出願資格

教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に定める普通免許状（二種以上）を有する方または令和2年3月までに取得する見込みの方に限ります。

## 説明会日程

説明会に参加を希望される場合は、右記QRコードから申し込みをお願いします。  
なお、当日参加も可能です。



### 東京会場

日時：令和元年 7月21日(日) 13:30～15:30 (13:00～受付開始)

場所：東京リエゾンオフィス 5階509号室（東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター）

### 山梨会場

【現職教員対象】

日時：令和元年 7月26日(金) 16:30～17:30 (16:00～受付開始)

場所：国立大学法人山梨大学甲府西キャンパス N号館2階 N-24教室

【ストレートマスター対象】

日時：令和元年 7月27日(土) 13:30～15:30 (13:00～受付開始)

場所：国立大学法人山梨大学甲府西キャンパス N号館2階 N-24教室

## 入試日程

■出願期間：令和元年 9月 6日(金)～9月13日(金)

■試験日：令和元年10月12日(土)

■合格発表：令和元年10月17日(木)

■試験科目：書類審査・口述試験・口頭試問(学校マネジメント分野のみ)

※募集定員を満たさない場合は追加募集を行います。追加募集を行う場合は、大学ホームページでお知らせしますので確認してください。

## 取得可能な教員免許状

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭の一種免許状を有する方は、本研究科において教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得することにより、それぞれに対応する専修免許状を取得することができます。詳細は次のとおりです。

●小学校教諭専修免許状

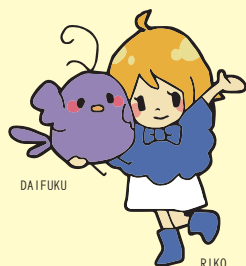
●中学校教諭専修免許状「国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語」

●高等学校教諭専修免許状「国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・工芸・保健体育・家庭・英語・書道」

## 大学院設置基準に定める教育方法の特例措置について

- ①特例措置の適用を認定された方は、修業年限の前半1年間を研究科における研究と授業に専念します。この期間における履修単位は、22単位以上とします。
- ②後半の1年間は、在職校においてその勤務と教育実践研究とを並行し、研究科の指定した日に登校して研究指導を受けるとともに、定められた科目の単位の履修を行います。
- ③特例による授業は、現職教員の勤務様態を勘案し、平日においては、夜間の授業時間（18時10分～19時40分）を開設、また、長期休業期間においては、集中講義等を開設します。

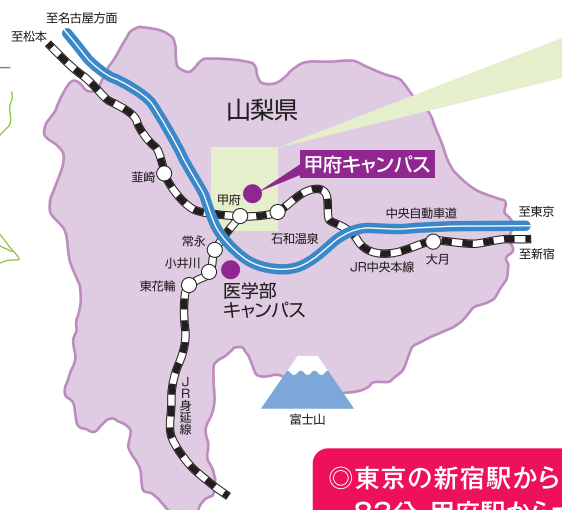
## 平成30年度 課題研究テーマ



イメージキャラクター 梨子ちゃん  
大福くん

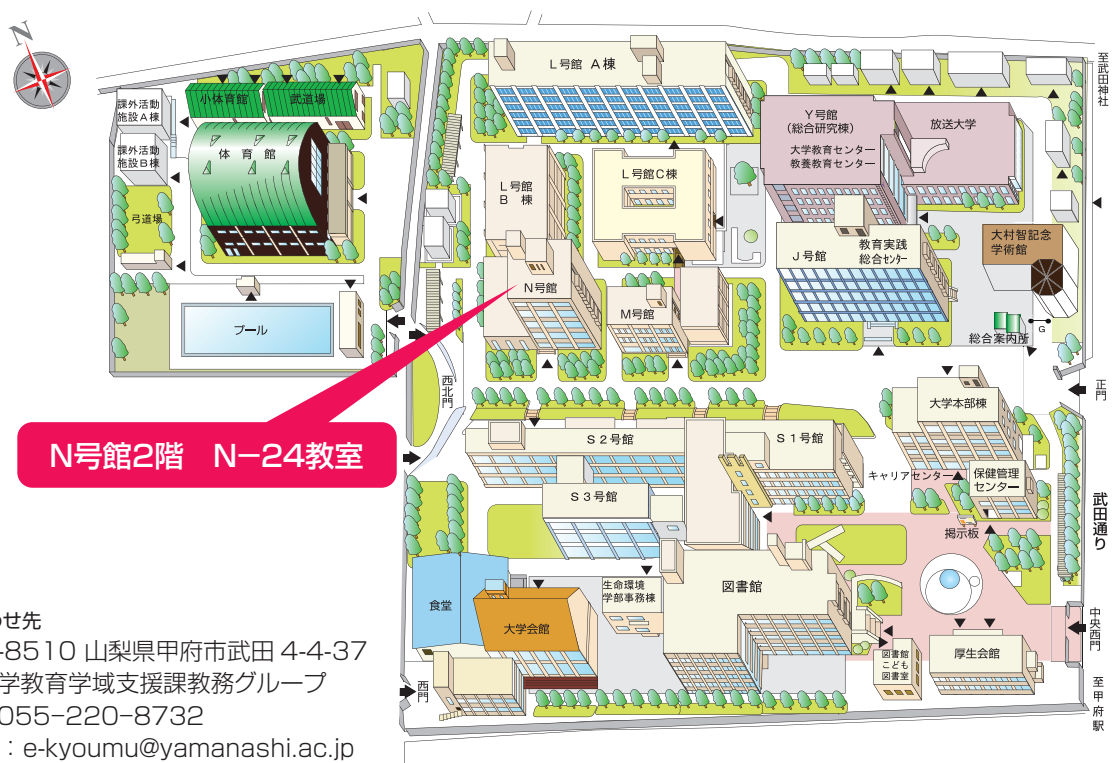
- 初等英語教育における部分的 CLIL を取り入れた授業実践
- 「主体的・対話的で深い学び」をつくる小学校授業のデザイン
- 小学校体育科における主運動につながる準備運動の開発
- 中学校社会科における複眼的な見方・考え方の育成
- 高校数学における授業スタイルの考察
- 児童の知識理解を促す指導の手だて
- ICT を利用した中学校保健体育科の授業づくり
- 児童が意欲的に活動できる学級づくり
- 「できる」実感を伴ったわかりやすい授業について
- 中学校英語科における授業改善への提言
- 世界史における新聞を活用した授業実践
- 高等学校における発達障害のある生徒に対する支援
- 小学校音楽科における主体的に鑑賞する児童の育成
- 理科を学ぶ有用性を高める授業づくり
- 見方・考え方を育てる数学科の授業実践

## Access



◎東京の新宿駅から甲府駅まで最速の特急で  
83分、甲府駅から大学まで徒歩で15分

## Campus Map (甲府西キャンパス)



N号館2階 N-24教室



問い合わせ先  
〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37  
山梨大学教育学域支援課教務グループ  
電話：055-220-8732  
E-mail：e-kyoumu@yamanashi.ac.jp